

外国語科1年生シラバス

1 外国語科の目標

簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す

2 外国語を学ぶ意義

- 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるため
- コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けるため
- 相手意識を持ちながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：英語の特徴やきまりに関する事項を理解することができる 技能：実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：言語活動を粘り強く行い、あきらめずに課題解決しようと取り組むこと
例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝えようとしている
- ② 外国語を学ぶ意義 例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている
- ③ 自らの学習の調整 例：振り返りカードを使って、学習計画や自分への振り返りをすることで、評価・改善をしようとしていること

5 外国語の勉強アドバイス

- ① 振り返りカードをポイントに従って、たくさん書きましょう。自己評価につながります。
- ② パフォーマンステストに向けては、しっかり準備をしましょう。
筆記テストだけが評価されるわけではありません。
- ③ 話す、書くなど表現する機会がたくさんありますが、積極的に取り組みましょう。
- ④ 宿題、プリントなど、課題を忘れずこなすようにしましょう。

外国語科 1 年生 学習計画と評価基準について

単元	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0	4 月	【知識】 あいさつや好きなものをたずねる文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 あいさつや好きなものをたずねる文の理解をもとに、初対面や朝のあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったり答えたりする技能を身につけている。	初対面の相手とおたがいのことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。	初対面の相手とおたがいのことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。☑
Unit 1	4 月 下旬 5 月	【知識】 be動詞や一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 be動詞や一般動詞を用いた文の理解をもとに、おたがいの名前や好きなものなどについて伝えたり、たずねたりする技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことや考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、名前や出身地、好きなものやできることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。"【態】おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことや考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即
Unit 2	5 月	【知識】 He [She] is …、や助動詞can、This [That] is …を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 He [She] is …、や助動詞can、This [That] is …を用いた文の理解をもとに、身近な人のことやできること、どのようなものかについて伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。
Unit 3	6 月	【知識】 whatやwho、howやwhen、whereを用いた疑問文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 whatやwho、howやwhen、whereを用いた疑問文の理解をもとに、ものや人、方法や時、場所をたずねたり答えたりする技能を身につけている。	疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。	疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。
Unit 4	6 月	【知識】 How many …? やWhat+名詞…? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】 How many …? やWhat+名詞…? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時刻、することなどについてたずねたり答えたり、指示や助言をしたりする技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしようとしている。
Unit 5	7 月	【知識】 三人称数現在形の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】 三人称数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Stage Activity 1	7 月	【知識】 Unit 4までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 自分が好きなことについて、Unit 4までの学習事項を用いて、つながりのある文章を書く技能を身につけている。	自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章でポスターを書いている。	自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章でポスターを書こうとしている。
Unit 6	9 月	【知識】 代名詞や疑問詞whose、whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】 代名詞や疑問詞whose、whichを用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。

Unit 7	1 0 月	【知識】現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解している。 【技能】現在進行形を用いた文や感嘆文の理解をもとに、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につけている。	相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面でしていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話している。	相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面でしていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話そうとしている。
Unit 8	1 1 月 0 月 下 旬 1	【知識】不定詞（名詞的用法）や（look＋形容詞）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】不定詞（名詞的用法）や（look＋形容詞）を用いた文の理解をもとに、したいことや人やものの様子について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書いている。	世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書こうとしている。
Stage Activity 2	2 1 月 1 月 下 旬 1	【知識】Unit 8までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】好きな有名人やあこがれの人について、Unit 8までの学習事項を用いて、どんな人かを理解したり、その人についてたずねたり説明したりする技能を身につけている。	好きな有名人やあこがれの人がどのようなかを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、説明したりしている。	好きな有名人やあこがれの人がどのようなかを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、説明したりしようとしている。
Unit 9	1 2 月	【知識】一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】一般動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、過去の出来事について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。
Unit 10	1 月	【知識】be動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ...を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】be動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ...を用いた文の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことなどについて伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身に	日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。	日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書こうとしている。
Unit 11	2 月	【知識】be動詞の過去形やThere is [are] ..., 過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】be動詞の過去形やThere is [are] ..., 過去進行形の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて理解したり伝えたりする技能を身につけている。	一年の思い出を伝えあったり町の紹介をしたりするために、過去の状態や気持ち、町の施設などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしている。	一年の思い出を伝えあったり町の紹介をしたりするために、過去の状態や気持ち、町の施設などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしようとしている。
Stage Activity 3	3 月	【知識】Unit 11までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】思い出に残った学校行事について、Unit 11までの学習事項を用いて発表する技能を身につけている。	好きな有名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしている。	好きな有名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしようとしている。
具体的な評価の方法		①授業中に生徒の言語活動の取り組み状況を観察する。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ②課題で提出した英文の評価およびインタビューテストをする。（知識・技能） ③Mini Activityの活動で使ったワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。（知識・技能） ④Unit Activityの活動で使ったワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。（思考・判断・表現） ⑤本文の音読を教員または生徒同士が評価する。（知識・技能、思考・判断・表現） ⑥本文の内容について聞いたり読んだりしたことを、筆記テストをする。（知識・技能、思考・判断・表現） 小テスト／中間・期末・学年末考査など ⑦テーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているか筆記テストをする。（知識・技能） ⑧パフォーマンステストをする。（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）		

技術・家庭科（技術分野）1年生シラバス

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。

生活や社会の中で見つけた課題を解決する方法を考え、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造できるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	生活の中で利用されている技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようとする取り組み
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 技術分野のアドバイス

- ① 技術に関わる原理・法則を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ② 道具の安全・適切な使い方を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ③ 技術の最適化の視点で考えましょう。

技術・家庭科（技術分野） 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習回数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション	1～2回目			3年間の技術分野の学習に見通しを持って、主体的に取り組もうとしている。
生物育成の技術	3～10回目	・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて説明できる。 ・安全・適切な栽培ができる。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。	・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。 ・技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。	・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
材料と加工の技術	11～35回目	・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて説明できる。 ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。	・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。 ・技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。	・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
具体的な評価の方法		・定期テスト・ワークシート・作品	・定期テスト・ワークシート・作品	・振り返り・授業観察

技術・家庭科（家庭分野）1年生シラバス

1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：生活と技術について理解できる。 技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。	思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することができる。 判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。 表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。

節	学習 時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 1 1 ガイダンス 4 1 2 日常食の役割と中学生の栄養の特徴	4 月～5 月	- 生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。 - 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康に良い食習慣について理解することができる。 - 食品や調理器具などの安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切にできる。	- 自分の食習慣について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 - 調理の仕方、調理計画について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	- より良い生活の実現に向けて食事の役割と中学生の栄養の特徴について課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。 - より良い生活の実現に向けて、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
4 2 章 中学生に必要な栄養を満たす食事	6 月～7 月	- 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解することができる。 - 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立の立て方について理解することができる。 - 材料に適した加熱調理のしかたについて理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。	- 中学生の1日の献立について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 - 調理の仕方、調理計画について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	- より良い生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。 - より良い生活の実現に向けて、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
4 3 章 調理のための食品の選択と地域の食文化	9 月～3 月	- 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに適切にできる。 - 食品や調理器具などの安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切にできる。 - 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。 - 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	より良い生活の実現に向けて、食品の選択、日常食の調理と地域の食文化について主体的に取り組んだり振り返って改善したりして生活に生かそうとしている。
具体的な評価の方法		定期テスト・実技テスト・授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察	定期テスト・授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容	授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察・自己評価

保健体育科 1 年生シラバス

1 保健体育科の目標

- ①運動の楽しさや喜びを知る
- ②運動をして体力をつけることの必要性を知る
- ③自分の課題を見つけることができるようになり、それを友達に相談したり解決できるように話し合ったりできるようになる
- ④試合や競争を通じて、公正に取り組むこと、仲間と協力すること、自分の役割、一人ひとりの違いを知る
- ⑤健康・安全について理解する、健康についての自分の課題に気づく

2 保健体育を学ぶ意義

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康の維持やより良くできるようなスポーツライフを実現する

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
頑 張 っ て ほ し い 事	①各運動の特性や歴史、技の名称や行い方を理解できる ②高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法を理解している ③運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している ④運動の特性に応じた、基本的な技能を身に付けている	①自分や仲間の課題を発見する ②課題解決に向けて、運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している ③自分や仲間の考えたことを友達や先生に伝えたり、発表したりすることができる（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている）	①健康・安全を確保して積極的、自主的に授業に参加しようとしている（出席・遅刻・忘れ物が影響） ②試合を行う時に、公正に行う事や仲間と協力したり、自分の役割を果たそうとしている ③自分の課題を見つけて、次の授業でよりよくするための工夫をしようとしている（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている）

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：健康・運動の自分の課題を粘り強く考え、友達と比較しながら諦めずに解決しようと取り組むこと
例：苦手な種目にも積極的に取り組むこと
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って、評価・工夫・改善をしようとしていること
（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できていること）

5 保健体育の勉強アドバイス

- 【単元別テスト・期末テスト・レポート】
- ①保健の教科書、保体資料ノートの内容を覚える
 - ②種目のルールや何故その種目できたのか（歴史）を覚える
 - ③自分の課題を解決していくためにどうすればいいのか、レポートにまとめる
- 【実技】
- ①一生懸命（精一杯）行う
 - ②ほかの人と比較するのではなく、自分がどのくらい上達したのか（タイムならどれだけ縮んだのか）を重視して活動する
 - ③毎回安全かつルールを守り参加する

【学習計画】

	4月～	5月～	6月～	7月～	9月～	10月～	11月～	12月～	1月～	2月～	3月～
行う種目	民謡行動 （体づくり運動） 1-3	体力テスト	陸上競技 （リレー・短距離走） バレーボール	水泳 （体づくり運動） 4-7	ダンス 器械運動		ソフトボール バドミントン	陸上競技 （長距離走）	武道 卓球	サッカー バスケットボール	
毎回の授業ですること	集合・整列・ラジオ体操										
保健編	健康の成り立ちと疾病の発生要因 運動と健康 食生活と健康 休養睡眠と健康 調和のとれた生活			体の発育発達 生殖機能の成熟 異性の尊重と性情報への対応 自己形成と心の健康				心と体の関わり 欲求と心の健康 ストレスによる健康への影響 ストレスへの対処の方法			
体育編	運動やスポーツの必要性和楽しさ			運動やスポーツへの多様な楽しみ方				運動やスポーツの多様な楽しみ方			

保健体育科1年生 評価規準について

【評価規準】

運動領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	体の動きを覚え、体の使っているところを意識しながら練習することができる。 ・心と体をばぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことについて、書いたり書き出したりすることができる。 ・体のまわかし、巧み（技術的）な動き、力強い動き、動きを維持する能力を高めることについて、書いたり書き出したりすることができる。 ・「心とは何を感じているのか」と、「自分の心や体の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わろう」ということについて、書いたり書き出したりすることができる。 ・体の動きを覚めるときは、安全で合理的に行える方法があることについて、書いたり書き出したりすることができる。 ・体の動きを覚めるときは、適切な強度、時間、回数、などを考えながら進めなければならないことについて、書いたり書き出したりすることができる。 ・運動の場面せ方には、簡単なよい順番とバランスのよい順番があることについて、書いたり書き出したりすることができる。	その日に行う運動で使う部位をより意識して毎日体操を行うことができる。 ・体ほぐしの運動で、「心と体の関係や心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わろう」とことを理解させねらるに合った運動を行うことができる。 ・体の動きを覚めるときは、自分の課題に応じた運動を行う事ができる。 ・学習した安全の面でもより気を付けること、他の学習場面に生じてくる時、仲間に伝えることができる。 ・仲間と話し合うことで、仲間との関わり方を覚えて、話し合いに参加することができ、仲間とともに楽しむための運動を受け付け、仲間に伝えることができる。	健康・安全に気を付けながら、積極的に取り組もうとしている。 ・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を助けようとしている。 ・一人ひとりの違いを認めようとしている。 ・ねらいに応じた行い方などについての話合いに参加しようとしている。 ・健康・安全に留意し取り組もうとしている。
行動集団	号令に対する動きを理解し、行動することができる。	全員が動き始めるように動きを見比べ、完成したものを実践することができる。	集団行動に意欲的に取り組もうとしている。授業の内容に対して的確に答えが返り、次の授業の活動によりよくするために工夫しようとしている。
体力テスト	テストの名前を正しく理解し、自分の力を最大限に発揮することができる。	自分と他者の行い方を比べよりよい配筋ができるように工夫することができる。	体力テストに意欲的に取り組もうとしている。自分の記録に対する課題に自ら気づき、今後の自分の記録をよくするために工夫しようとしている。
基礎運動	○知識 ・それぞれの種目や個性などにより、主として高まる体力要素が異なることや、技を行うための合理的な動き方のポイントを理解することができる。 ○技能 ・全身を使った突き放したりするための準備の仕方、腰膝から高まるための蹴り方、踏み上げたりするなどの動き方などを実践し、基本的な動作の一連の動きを滑らかに行うことができる。 ・学習した基本的な動作を発展させて、一連の動きで行うことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。	・競技運動に積極的に取り組むとともに、出来栄の良い技やマナーを誇れるなど、仲間の努力を認めようとし、練習の補助や声援により仲間の学習の補助をしたりとしようとしている。 ・健康・安全に気を配り、自己の課題に気づき、技の完成に向けて工夫した練習を行おうとしている。
地上競技（バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、ハンドボール、卓球）	○知識 ・競技上の特徴（歩く・走る・跳ぶ・投げる）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・蹴り出し、リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバントの受渡しタイミングを合わせるなどすることができる。 ・長距離走では、ペースを守って走るなどができる。 ・自己目標設定は、スピードに乗った走りから早く抜け切ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。	・地上競技に積極的に取り組むとともに、積極的な役割、ルールやマナーを守るとすること、分組した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や技術を認めようとするなどなをし、健康・安全に気を配りたとうとしている。 ・また、自分の課題に気づき、今後の自分の記録をよくするために工夫しようとしている。
球技（バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、ハンドボール、卓球）	○知識 ・競技上の特徴（両脚対峙、個人対個人で試合をする）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前の攻防をすることができる。（サッカー、バスケットボール） ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置にあるものの動きによって望んだ場所をめぐる攻撃をすることができる。（バレーボール、卓球、ハンドボール） ・パスボール型では、基本的なパス操作と走動での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。（ソフトボール）	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守るということ、仲間などについての話合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた練習や技術を認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどなをし、健康・安全に気を配りたとうとしている。 ・また、自分の課題に気づき、今後の自分の記録をよくするために工夫しようとしている。
水泳	○知識 ・水泳の特徴や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手足の動き、呼吸のバランスをとりを泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手足の動き、呼吸のバランスをとりを泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手足の動き、呼吸のバランスをとりを泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手足の動き、呼吸のバランスをとりを泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えていく。	・水泳に積極的に取り組むとともに、離陸などを認め、ルールやマナーを守るとすること、分組した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や技術を認めようとするなどなをし、健康・安全に気を配りたとうとしている。
武道	○知識 ・武道性（礼を身に付ける、身につけた技を使う）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの効果的な攻防をすることができる。 ・剣道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの効果的な攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・武道に積極的に取り組むとともに、相手と大切に、伝統的な武道の仕方を守るとすること、分組した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や技術を認めようとするなどなをし、健康・安全に気を配りたとうとしている。
ダンス	○知識 ・ダンスの特徴（自己を表現）や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・現代舞やリズムのダンスでは、リズムの特徴を探求、変化のある動きを組み合わせて、リズムに合わせて全身で動くことができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。また、仲間とともに作り上げたものを発表することができる。	・ダンスに積極的に取り組む自分自身を表現しようとしたり、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとするなどなをし、健康・安全に気を配りたとうとしている。
と健康・防犯上の生活習慣	・健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康について学ぶことができる。	・健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康に関する事象や情報を基に課題を発見し、健康の保持増進のための原則や対策を明らかにするため目的別に思考・判断して、それらを他者に伝えたりすることができる。	・健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
発達身体と心の健康	・身体機能の発達、主に脳に関わる神経の発達、精神神経の発達と自己形成および感情やストレスへの対応と心の健康について理解し、ストレスへの対処の仕方を身につけることができる。	・心身の機能の発達と心の健康に関与する事象や情報は常に課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断すること、それらを他者に伝えたり、表したりすることができる。	・心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自己の健康の保持増進や回復のために学習に取り組もうとしている。
運動やスポーツ	・運動やスポーツの多様性について、理解することができる。	・運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。	・運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
身体的な評価	定期テスト・単元別テスト・レポート・実技テスト・授業での成長・授業の様子・提出物	授業中の仲間との関わり方・発表・発言・振り返りシート・ロイノートの内容	出席・遅刻・忘れ物・授業中の行動や発言・授業での成長・振り返りシート・ロイノートの内容

音楽科1年生シラバス

1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。 技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。 判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。 表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
 (例):自分の考えを更に深めるために、友達の意見も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること。

5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動（歌唱や楽器演奏など）は、恥ずかしがらずに積極的に、楽しみながら一生懸命やりましょう。
- ②必要な知識や技能が定着するよう、最後まであきらめずに取り組みましょう。

音楽科 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4月～3月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
合唱曲に親しむ	4～7月	・合唱を通じた音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・協働的に恥ずかしがらずに合唱を通じた音楽表現に取り組もうとしている。
「春」	5月	「春」の曲想と音楽の構造や演奏形態、使用される楽器やソネットの内容を理解している。	「春」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「春」が表す背景や情景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
ギター	5～7月	アルトリコーダーの基本的な演奏技能を身に付け、簡単な曲を表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
学年・全校合唱	7～11月	文化祭や津市音楽会で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要素を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
魔王	10月	「魔王」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。	「魔王」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「魔王」の歌詞が表す背景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
日本の歌曲	11～12月	「赤とんぼ」「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。またこれらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「赤とんぼ」「浜辺の歌」を現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要素を考え、創意工夫することができる。	「赤とんぼ」「浜辺の歌」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
音楽を感動した	11～12月	日本や世界の様々な音楽表現を鑑賞し、そこから生まれる感動を体感することができる。	感動的な音楽表現について、その要因を分析し、考えることができる。	興味関心を持って、様々な音楽表現を鑑賞し、それをもとに自分でも主体的な表現活動に取り組もうとしている。
箏	1月	箏演奏する技能を身に付け、「さくらさくら」のメロディを演奏することができる。	箏を演奏するために必要な技法を考え、創意工夫することができる。	箏の練習に対して主体的・協働的に取り組むことができる。
日本の伝統音楽	1～2月	箏曲「六段の調」の曲想と音楽の構造や、箏の構造や演奏法について理解している。	「六段の調」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「六段の調」の鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
卒業式	1～3月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要素を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
具体的評価の方法		行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ロイロでの振り返り、ワークシート、実技テストなど

美術科 1年生 シラバス

1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

2.美術の分野を学ぶ意義

- ・生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- ・生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになるようにし、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かせるようになること。
- ・生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫できるようになること。

3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。 技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。 判断：主題を生み出すことができる。 表現：豊かに発想し構想を練ることができる。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。

4.主体的に学習に取り組む態度について

○より良い表現を目指して構想を工夫改善すること

例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることを考え、取り組む

○粘り強く取り組む態度が感じられること

例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む

○美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること

例 わかったこと、できたことなどに楽しく取り組む。

例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

第1学年 年間指導計画

・第1学年では、「絵や彫刻など」および「デザインや工芸など」のいずれの分野においても、「描く活動」と「つくる活動」の両方を行う。

第1学年 年間45時間

1学期：週2時間を5週（10時間）、週1時間を5週（5時間）、計15時間

2学期：週2時間を7週（14時間）、週1時間を3週（3時間）、計21時間

3学期：週2時間を3週（6時間）、週1時間を3週（3時間）、計9時間

学期	時間	分野	教科書のページ	単元	学習活動	観点別評価指標					主体的に学習に取り組む態度		
						知識・技能		思考・判断・表現	知識（鑑）	表現（鑑）	知識（鑑）	表現（鑑）	態度（鑑）
						知識（知）	技能（技）						
1学期（21時間）	8	絵や彫刻など 【つくる活動】	18～19	自然の形や色を 見つめて	○自然物の造形に思いをもち、さまざまな感覚を通して捉えた自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。 ○主眼をもち、形や色、材料などの構図を構える。 ○形や色、材料などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を話し取り、話し合う。	形や色、質感などが感情に訴え、自然の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	絵の具や粘土など、自然の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	さまざまな感覚を通して捉えた自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。また、自然物の形や色、質感などを主眼として表現する。
	10	絵や彫刻など 【描く活動】	22～23	その人らしさを 捉える（※）	○身近な人の表情や動きを捉え、主眼をもち、形や色、材料などの構図を構える。 ○ポーズや構図、色などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を話し取り、話し合う。	自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。また、自分の表したい感情や表情を主眼として表現する。
3学期（9時間）	1	デザインや工芸など 【鑑賞】	58～59	「火焔型土器」を鑑賞しよう	○火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。 ○タレット端末などを活用し、意図や工夫を話し取り、話し合う。 ○意図や工夫を話し取り、話し合う。	火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく火焔型土器の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。
	6	デザインや工芸など 【つくる活動】	56～57	気持ちを伝える デザイン	○気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。 ○主眼をもち、形や色、材料、仕組みなどの構図を構える。 ○形や色、材料、仕組みなどを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を話し取り、話し合う。	気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを表現するためにデザインに思いをもち、意図や工夫を話し取り、話し合う。
3学期（9時間）	2	絵や彫刻など 【鑑賞】	36～43	「風神・雷神像」を鑑賞しよう	○「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。 ○タレット端末などを活用し、意図や工夫を話し取り、話し合う。 ○意図や工夫を話し取り、話し合う。	「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく「風神・雷神像」の造形、意図、表現などを鑑賞し、意図や工夫を話し取り、話し合う。
								作品・制作過程のすべて・ワークシート・発表・定期テスト			作品・制作過程のすべて・ワークシート・発表・定期テスト		作品・制作過程のすべて・ワークシート・発表・定期テスト

特別支援学級について

特別支援学級では、生徒の実態に合わせて下記のような学習を行います。

① 「自立活動」

ねらい

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習や生活上の困難を主体的に改善したりそれに対して対処する方法を身に付けるために、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を養う。

例：体力向上、コミュニケーション活動、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、認知トレーニング、活動の見通しをたてる時間など。

② 「生活単元学習」

ねらい

生徒が、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を学習する。

例：園芸、手先の緻密性を高める作業学習、創作活動、調理実習など

③ 「教科学習」

ねらい

社会に出て、最低限必要な学力を身に付ける。

例：体験学習などを通して、経験を積み重ね、生活に即した学力をつける。

こくさいきょうしつ
Q: 国際教室ってどんなところですか？

⇒ A: 外国につながる生徒のみなさんのための場所です。

1. 日本に来て間もないみなさん

日本に来たばかりのみなさんには、日本語の授業はもちろん、教科の勉強の支援や母国では学んでいない学習内容の補習、学校生活や行事の事前学習、文化や習慣の違いによる悩み相談など、安心して東橋内中学校で過ごせるためのサポートを幅広く行っています。

2. 日本での生活が長いみなさん

日本の生活に慣れていて、日常生活の日本語にはあまり困っていないけれど、教科の勉強の日本語に困り感がある生徒のみなさんには、普通教室での授業のサポートを行っています。



3. 日本語能力試験への対応

国際教室では日本語を母語としない生徒のみなさんを対象に、日本語能力を測る「日本語能力試験」の対策も行っています。「日本語能力試験」に合格すると、学校での単位・卒業資格認定や、企業での優遇、社会的資格認定などさまざまなメリットがあり、将来日本の企業で働きたいと思っているみなさんには受験を強くおすすめしています。レベルはN1（幅広い場面で日本語を使うことができるレベル）からN5（基本的な日本語をある程度理解することができるレベル）までの5つで、本校に在学している間には、N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得することが目標です。今からチャレンジすることで、自分の将来にぜひつなげてください。



国際教室は、勉強だけではなく、外国につながるみなさんが困ったときに頼れる場所です。
困ったことがあればぜひ、国際教室に来てください。

おわりに

この「学習の手引き」を大いに活用し、より充実した学習活動を自主的に展開してくれることを期待しています。そして、これからの進路選択や人生選択において、「自己実現」し、最適な道を見つけ出す力を身に着け、輝く未来に歩み出してくれることを願っています。

学習の手引き

令和7年5月23日 第1刷発行

発行所 津市立東橋内中学校
津市中河原 356 番地 2

TEL 059-228-2624

FAX 059-228-2628

E-mail j2282624@res-edu.ed.jp